

令和4年度卒業証書授与式・修了式を終えて

令和4年度の卒業証書授与式並びに修了式を終えました。卒業式の式辞では、芦田恵之助先生の「バラ二本」を贈りました。

皆さんの門出にあたり、以前紹介した、芦田恵之助先生の「バラ二本」を贈りたいと思います。

ばら二本

一本は花大にして

一本は小

大大なるを誇らず 小小なるを恥じず

力の限り 咲けるが美わし



「人と比較して勝ち誇ったり、くよくよしたりする必要はない。自分の力を精一杯出して咲くことが大事なんです」と伝えるこの詩は、学級目標「自分色」を合言葉に取り組んできたあなた方にぴったりの詩です。

これからも「自分色・自分らしさ」を大事にして、夢や目標に向かって、一歩また一歩と前進してください。

18名の卒業生が、次のステージへと羽ばたいてくれることを願っています。

また修了式では、一年間で子どもたちに校長講話で伝えてきたことを振り返りながら子どもたちと成長を確認に合いました。

みんなに伸ばしてほしい3つの力

「じぶんでかんがえて、こうどうできる」

「あたしいことやじめてのことに
ちょうせん、チャレンジできる」

「ともだちといっしょにまなべる」

じぶんにされて
いやなことは
ひとにしない
いわない

じぶんでかんがえて、
こんなクラス こうどうできる

①しっばいしてもわらわれない
「わからない」ことは「わからない」

②はじめてのこと・あたらしいことをたのしみ

③うまいかなかったとき「なぜ」「もう」か
いするとしたら、どうすればいいか

さいしょにとびこむペンギんを
みて

ゆうき
ちょうせん
ちゃれんじ

ファーストペンギン

こまったときやふあんなときでも
じぶんでできる子にすることば

先生やともだちにじぶんから
「こまっているから
おしえて」

竹をみんなにたとえと

友だちをみとめあい
いっしょにせいちょうする
竹田っ子



子どもたち一人ひとりがこの一年間、頑張ってきた証が修了証書になっています。

子どもたちは、この一年で大きく成長しました。来年度も「伸ばしてきた3つの力」を大切にして取り組んでい

きたいと思います。

一年間ありがとうございました。